

平成28年度伊豆の国市商工会経営発達支援計画の検証会結果報告書

招集通知日 平成28年3月23日
開催日時 平成28年3月30日(火) 18:00~20:30
開催場所 伊豆の国市商工会本所 2階会議室
出席者数 22名
欠席者数 13名(内 監事2名)
出席役員氏名 別添 理事会出席名簿
司会者氏名 松下泰孝(事務局)
議長氏名 大沢秀光(会長)
議事録作成役員氏名 秋田辰彦(副会長)

伊豆の国市商工会経営発達支援計画の検証会

中小企業診断士・塩野富佐男氏、伊豆の国市経済環境部長・菊池友宏氏、同農業商工課長
大津勝彦氏、同商工係長・清水重貴氏、を紹介、同席のもと行われた。

- ①計画の概要
- ②28年度本会経営発達支援計画事業の実績報告
- ③伴走型小規模事業者支援推進事業補助金の報告
- ④28年度本会経営発達支援計画事業の評価・改善
- ⑤その他

松下経営指導員より以下、報告が行われた。

- ・経営発達計画支援事業の取り組み内容について①「概要説明 (P)」②「実行 (D)」、「事務局評価 (C)」、「事務局改善 (A)」について報告を行った。(資料1-1)
併せて「報告一覧表」の定量報告を行った。(資料1-2)
- ・③28年度、伴走型小規模事業者支援推進事業補助金の実施報告が行われた。
3月4日28年度実績報告書提出(283万円) (資料1-3)
29年度伴走型小規模事業者支援推進事業補助金申請について説明が行われた。
3月25日29年度計画書提出(351万円) (資料1-4)
- ・続いて、④評価改善について、大沢会長、塩野中小企業診断士、菊池部長より以下、講評が行われた。

大沢会長一

ア. 定量目標、定性目標の達成は、評価できると総括した。

- イ. 情報をわかりやすく小規模事業者に伝えてもらいたい。
- ウ. 長期的な支援計画を考えてもらいたい。
- エ. イベント等回数ではなく、商談発展、個社の売上増加まで支援してもらいたい。
- オ. 地域経済活性化は総力戦、官民連携してやっていくこと。

塩野中小企業診断士一

- ア. 計画的に事業が行われ、評価する。
- イ. 定量目標については、おおむね達成され、また、経営革新等それ以上もあり、評価する。三信との定例会等定量の未達成も中身が大事。
- ウ. 定性評価の「5」段階の根拠は、はっきりと。
- エ. 国の動きとして、個社支援を重視し、集団支援は人集めだけではなく、商談の数、地域経済の活性化は、個々の支援へのフィードバック、売上アップの定量の把握が求められる。また29年度は本発達計画の統括の年となるので、目標の達成度だけではなく、どれだけ効果があったのかも含めて検証したい。
- オ. 伊豆の国市商工会産業振興祭のマッチング・販路拡大（ブランド認定商品・経営革新事業）で、今後は、どれだけ「認知度」と「経済効果」を挙げられるかが求められる。
- カ. 次年度の取り組みの中で、「事業承継の問題」は国も抜本的な問題と危惧し、伊豆の国市商工会の着眼点を評価する。
- キ. 伊豆の国市商工会の経営発達計画の事業も引き続き頑張ってもらいたいと総括した。

菊池伊豆の国市経済環境部長一

- ア. 評価の5段階は評価する。
- イ. 高齢者生活支援事業は非常に希望する。
- ウ. 29年度も評価改善と原因究明をしっかりと、取り組んでももらいたい。

- ・⑤その他 特になし。

終わりに、大沢会長は、発達計画の各委員の評価、改善を踏まえ、理事会等で再検証しながら、29年度も計画を推進したいと意見を述べた。